

## 子供と英語～早ければ早いほどいいってほんまなん？～

古海陸（兵庫県立北摂三田高等学校）

### はじめに

#### ① 英語の早期教育の現状

グローバル化が進む現代において英語教育が重要視され、その中でも幼稚園、保育園などの頃からの早期教育への関心が高まっており、英語の授業を取り入れる幼稚園、保育園が増えている。

#### ② リサーチクエスション

幼児教育における英語の早期教育は是か非か。また、英語の早期教育をするにあたって必要なものはなにか。

### 調査方法

#### ① アンケートの実施

北摂三田高校二年五組の生徒35名（自分は除く）

#### ② インタビューの実施

ECC 英会話教室 かのこだい教室講師 野地 雅世様

大阪教育大学 講師

中学校教諭 匿名

保護者（お子さん生後3ヵ月） 匿名

### 結果と展望

大阪教育大学 講師

（英語の）早期教育をする必要はない。日本の主言語を英語にする、というなら別だが、第二言語である英語を早くからやっても日本語も英語も中途半端になるだけ。発音も

ECC 鹿の子台教室講師 野地 雅世様

早期教育は必要

英語にせよなににせよ小さいときじゃないとできないことがある。ただし、し過ぎはよくない。3歳までなら多言語が入りやすいので英語の早期教育良いと思うが聞く、話す、だけでいい。小さい頃から読み書きはしなくていいと思う。一番大事なのは子供の「やりたい」気持ちを引き出すことで、親がきっかけを作ってやる事だと思う。

これらのインタビューから、早期教育には賛成だがやり方に工夫が必要ということが分かった。これからリスニングストを行い、アンケートの結果と照らし合わせて、早期教育とそうでないもののリスニング力の違いについて実験する予定。